

北の志づめ

第211号

令和2年10月



「開拓神社の夏」(西条正鳳)



開拓神社

特集

〈開拓の群像〉

死を賭けて突っ込む 土方歳三

合田一道氏

<http://www.hokkaidojingu.or.jp/>

北の志づめ 第211号 令和2年10月1日発行

〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474 電話/011-611-0261 FAX/011-611-0264 北海道神宮社務所

社頭風景

六月下旬～九月



1 鉾霊神社例祭
2 伏見桃山陵遙拝(七月三十日)
3 茅の輪くぐり(夏越の大祓)
4 家内安全祈願祭

鉾霊神社例祭

北海道の開拓に於いて重要な役割を果たしたのが石炭採掘をはじめとする鉾鉱業ですが、当時の環境は過酷なもので、殉職者も多く出ました。

昭和十七年六月一日、札幌鉾山監督局の開所五十周年の記念事業として鉾鉱業従事者の殉職者を奉祀する祭場として「札幌鉾霊社」を建立することとなり、翌十八年に社殿が竣工しました。戦後社殿は札幌神社(現北海道神宮境内)に移築され、「鉾霊神社」と社名を改めて祭祀を続け、現在一三、四三五柱の御霊をお祀りしています。

令和二年六月二十五日(木)午前十時半、鉾霊神社例祭を斎行致しました。

夏越の大祓

罪や穢れを祓い、心身を清める夏越の大祓を六月三十日(火)午後三時より斎行致しました。毎年多くの方にご参列いただきありがとうございます。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、密を避けるため当日のご参列はご遠慮いただき、本来、式の後に参列者と共に行う茅の輪くぐりの神事を式の前に神職巫女のみで行い、神門下祓所ではなく本殿内にて斎行致しました。また、茅の輪は毎年六月三十日の朝設置致しておりますが、参加者分散のため六月二十七日(土)からの設置と致しました。

樺太開拓記念祭

八月二十三日(日)午前十時より、元樺太在住者とその親族等で結成されている全国樺太連盟の北海道在任の会員参列のもと、樺太開拓記念祭を斎行致しました。

この日は明治四十四年に創建された樺太神社の例祭日にあたり、また樺太の施政記念日でもありましたが、ソ連軍侵攻により廃祀となりました。御祭神を同じくする北海道神宮が、関係者の心の拠り所となるべくこの記念祭を奉仕しております。当日は全国樺太連盟より、樺太開拓記念碑前に花が献じられました。

御鎮齋記念祭

明治二年に明治天皇の詔により北海道の開拓・発展の守護神として大國魂神・大那牟遲神・少彦名神の三神を祭神とする神社の創建が決定され、東京都宝田町(現在の皇居外苑)の神祇官にて「北海道鎮座神祭」が斎行されたことを記念して、九月一日(火)午前十時より御鎮齋記念祭を斎行致しました。

祭典では、明治天皇百年式年祭に合わせて作舞された「黎北の祈り」が奉奏されました。

祭典終了後、北海道神宮に対して功績のあった方の表彰状と記念品の授与式が行われました。

行事の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、左記の行事は中止となりました。

- 夏期ラジオ体操会
- セタまつり
- 写生大会
- 北海道神宮少年剣道大会
- 開拓神社杯軟式少年野球大会



1 献饌(樺太開拓記念祭)
2 樺太開拓記念碑
3 黎北の祈り
4 表彰状と記念品の授与

令和二年表彰者ご紹介

令和元年九月より令和二年八月までの間、篤志の真心をご奉賛頂きました方、並びに北海道神宮への永年の功績のあった方を表彰致しましたのでご紹介申し上げます。(敬称略)

第七東祭典区

〈奉納〉 幟旗 十万円

札幌赤レンガライオンズクラブ 会長 村田 強

〈奉納〉 八重桜(二(三m×十五本) 十万円相当

青木 猛

〈奉納〉 百万円

熊谷 卓司

〈奉納〉 十万円

医療法人社団 恒仁会

〈奉納〉 十万円

匿名

〈奉納〉 十万円

佐藤 雅英

〈永年功労〉北海道神宮フォトコンテスト審査員

越智 真紀子

〈永年功労〉北海道神宮フォトコンテスト審査員

抜穂祭

九月十日(木)午後一時より、上川郡東川町において第四十二回北海道神宮神饌田抜穂祭を斎行致しました。吉田宮司が斎主となり、田長を北海道農業協同組合中央会副会長理事串田雅樹氏、田長介助役を北海道農業協同組合中央会協同活動推進室室長長縄道弘氏、耕作長を東川町農業協同組合代表理事組合長樽井功氏がそれぞれ務めました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防



1



2



3

1 巫女による鈴でのお清め
2 抜穂の儀
3 収穫された稲穂

開拓神社

例祭

昭和十三年、当時の北海道庁長官(現在の知事)であった石黒英彦が、北海道開拓七十年を記念して物故開拓功労者を奉斎し、慰霊祭を斎行するため札幌神社(現在の北海道神宮)の境内に奉斎殿を建立しました。これが現在の北海道神宮境内社である開拓神社のはじまりです。例祭日である八月十五日は蝦夷地が北海道に改

称された、まさに「北海道」の誕生の日であり、御鎮座より今日まで厳粛に祭典を執り行つて参りました。

八月十四日、開拓神社祈願札焼納祭を天候の影響で予定より時間を早め午後一時に斎行し、午後六時には清めの雨降る中、開拓神社宵宮祭を斎行致しました。翌十五日は晴天に恵まれ、午前九時、開拓神社例祭を厳粛に斎行致しました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、祭典の参列に制限を設け、例祭後の子供神輿の渡御は中止と致しました。

北海道神宮頓宮

フラワーアレンジメント奉納

コロナ禍の続く中、札幌の生花店「HUG FLOWERS」様が、頓宮にお参りされる方々、そしてコロナ禍で疲れている方々の心が少しでも和みますようにと、これから毎年五月から十月までの期間、毎月一日、十五日にフラワーアレンジメントを奉納して下さることとなりましたので、ご参拝の際は是非ご覧下さい。



1



2



3

1 祈願札焼納
2 祝詞奏上(宵宮祭)
3 式神楽奉奏(例祭)



歴史から見えるもの⑤

死を賭けて突っ込む 土方歳三

函館戦争で自ら戦いを挑み、華々しく死んでいったのが土方歳三です。そのせいでどうか、歳三の函館における人気は抜群です。毎年五月に催される「五稜郭祭り」の歳三コンテストには、多くの「歳三」が登場してまつりを彩ります。



土方歳三

歳三は武州多摩郡石田村(東京都日野市)の農家の四男に生まれました。近藤勇の試衛館で剣道の修行中、浪士隊募集の呼びかけに応じて京都へ。この集団が分裂して最終的に近藤中心の新選組になり、京都守護職の会津藩主松平容保の預かりになります。そして池田屋騒動で勤皇の浪士らを斬り殺して名を挙げます。

戊辰戦争が起こると、甲府城乗っ取りを目指して進撃しますが、流山で新政府軍に包囲され、出頭した近藤は正体を見破られて斬首されます。

奥羽を連戦中の歳三は、慶応四年(明治元年、一八六八)秋、仙台領で榎本武揚率いる旧幕脱走軍に合

流して蝦夷地へ侵攻し、無血で五稜郭を占拠します。そして松前藩を攻め込み、平定します。

だが明治二年(一八六九)五月十一日、新政府征討軍の箱館総攻撃の日、弁天台場との連絡網を断たれ、歳三は箱館市中を奪回しようと五十人の手勢を率いて出陣しますが、二本木関門で戦死するのです。でも戦死の状況は判然としません。『麦叢録』を書いた江差奉行並の小杉雅之進は「此役土方歳三殿一本木ニ於テ戦死ス、陸軍奉行の大島圭介は「陣中日記」で「一本木デ流レ球ニ中(あた)リテ戦死」とあるだけです。

歳三に同行していた元新選組の島田魁の「日記」にはこう書かれています。「土方歳三馬ニ跨リ、兵ヲ率テ砲台ヲ援(たすけん)ト欲シ、一本木町柵ニ至リ戦フ。已(こ)ニ破リ異国橋近ク殆ト数歩ニ撓官軍海軍ト沙山トヨリ狙撃ス。数人斃ル。然ルニ撓△色無シ。已ニ敵弾腰間ヲ貫キ遂ニ戦没」。

同じく大野右仲の「函館戦記」は、歳三のそばにいただけに詳しい文面です。蟠龍艦が新政府軍の朝陽艦を砲撃した直後の模様を記した後、こう続けます。

「炎焰ハ天ニ漲ル。我が軍皆快ヲ叫ブ。歳三大喝シテ曰(いわ)ク。『此機失フヘカラス、士官隊ニ令シテ速ヤカニ進メ、然シ敗兵卒ニ用イ難シ、吾此柵(二本木関門)ニ在リテ退者ヲ斬ル、子(君)率イテ戦ヘ』」

大野は軍を率いて戦うが、退却する者が出て、柵を通り過ぎていく。不審に思いつつ、後に千代ヶ台に戻り同僚に会い、「始メテ奉行(歳三)ガ馬ニ跨リ柵側ニ

在リ、狙撃サレテ死スルヲ知ル」のです。

地元に残る伝えは、「歳三は単騎、関門に近づき、「黒田参謀に会いたい」と告げ、名を問われて「陸軍都督土方歳三」と叫び、馬の尻を蹴る。駆けだす馬上の歳三目掛けて銃弾がばらばらと飛び、一弾が腹部に命中、落馬。同志らが駆け寄り、近くの農家の納屋に運び込まれるが、間もなく絶命、というものです。「我輩は死に後れた。地下の近藤に済まない」と言っていた歳三らしい最期です。

ところで歳三の遺体が、まだどこに葬られているのかわからないのです。函館と故郷の東京・日野に墓がありますが、遺骨のない墓なのです。そんなことがより歳三の人気を高めているのかもしれないね。



歳三が戦死した一本木関門＝函館市

◆プロフィール◆
昭和九年(一九三四)、空知郡上砂川町生まれ。北海道新聞に入社し、道内各地を回る。在職中からノンフィクション作品を発表。「定山坊行方不明の謎」で北海道ノンフィクション大賞を受賞。退職後は札幌大学文化学部講師。著書は「日本史の現場検証」「人間登場」北の歴史を彩る「大君の刀」など。

奉賛会だより

◆「境内清掃奉仕」中止のお知らせ

昭和六十三年から始まり、本年で三十三回を迎える恒例の北海道神宮奉賛会の境内清掃奉仕ですが、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、今回の清掃奉仕は中止することと致しました。皆様のご理解ご協力宜しくお願い申し上げます。



清掃奉仕の様子

◆新入会員・協賛者のご紹介

当会へのご入会、ご協賛を頂きまして、まことに有り難うございます。令和二年六月十六日から八月三十一日までのご入会の方、また会費以外にご協賛頂きました方のご芳名をご報告致します。お名前漏れ等がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

(敬称略・順不同)

◆新入会員のご紹介

- 富原亮
- 石井輝
- 明和工業株式会社
- 代表取締役 西川明敏
- 村上隆盛
- 山下琢也
- 吉田祐樹
- 三好雅
- 角谷隆司
- T S U B A K I 真白椿貴
- 米沢美和子
- 宮岡美香
- 木田重信
- 大宮敏嗣

◆協賛者のご紹介

- ◆二万円
 - 北海道議会議員 小畑保則
 - 山田一仁
 - 北海道政経研究会 代表 伊東良孝
 - 船橋賢二
 - 村上福夫
 - 市川留美子
 - 松浦宗信
 - 北海道議会議員 星克明
 - 松本哲也
 - 笠井龍司
 - 村木中
 - 梅尾要一
 - 中澤圭
 - 滝口直人
 - フォービスタアローズ株式会社
 - 代表取締役 郷六尚
- ◆一万円
 - 佐々木寛文
 - 神尾裕司
 - 久保秋雄太
 - 今陽子
 - 安住太伸
 - 村田光成
 - 宮下准一
 - 成田昌幸
 - 株式会社島本工研
 - 代表取締役 島本淳一
- ◆三千円他
 - 中井友紀子
 - 中能雅和
 - 盛岡茂美
 - 庄田澄子
 - 佐竹賢一
 - 滝本道子
 - 河井博
 - 伊藤ヨウ子
 - 篠原正子
 - 阿部真澄
 - 萩野隆章
 - 針谷毅
 - 株式会社米山商店
 - 浜本茂
 - 久保剛
 - 藤原崇幹